



# トップメッセージ

---

皆さまには、日頃より北洋銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

2020年度の日本経済は、コロナ禍の影響の波が続いたことから、年度初めの大幅な落ち込みからは持ち直しの動きが見られるものの、外出自粛など経済活動の制約が繰り返され、個人消費の回復が弱いことや、企業収益の減少、先行き不透明感の高まりによる設備投資の減少などもあり、未曾有のマイナス成長が見込まれています。

また、北海道経済においても、道内景気を牽引してきた観光関連産業がインバウンドの消滅などから大きく落ち込んでおり、政府主導の「Go To」事業による回復への動きが見られたものの、11月以降の第3波の影響をいち早く受けたことや度重なる道独自の集中対策期間が続いたことなどから、他都府県よりもさらに厳しい状況にあるとみております。

先行きについても、コロナ禍の終息が見通せない中、経済活動の制約が長期化することなどにより下振れするリスクも内包しており、今後の動向には引き続き注視する必要があると

考えております。

また、少子高齢化を伴う人口減少の加速や後継者不在による事業所数の減少などにより、中長期的なマーケットは縮小が見込まれているほか、金融業界を取り巻く環境においても、超低金利政策の長期化、デジタル化の急速な進展やそれに伴う異業種の参入、新たなサービスの拡がりなど、これまで以上に厳しい経営環境が続くものと認識しております。

このような環境下において、当行グループが果たすべき役割・使命を明確化した新たな経営理念のもと、2020年4月より中期経営計画『共創の深化』をスタートさせており、以下のような取組みを中心に活動してまいりました。

非対面ニーズの高まりを受け、資産運用のご相談などWebを活用した面談態勢を全店で整えたほか、スマートフォンによるアプリサービスやWeb完結型商品の拡充、一部店舗での「来店予約サービス」の試行など、デジタル技術を活用したより付加価値の高いサービス提供に努めております。

また、コロナ禍で影響を受けたお客さまへの

資金支援はもとより、お取引先のテレワーク・ECサイト等の構築やフードデリバリー事業への参画など、コロナ環境下での感染防止対策や販路拡大に資するビジネスマッチング支援を展開しております。加えて、官民連携による資本性劣後ローンを活用した協調融資や経営改善・再生支援のほか、法人コンサル子会社との連携強化による人材紹介やM&A支援なども積極的に進めております。

この5月には、新たに「サステナビリティ方針」の制定や「TCFD提言」への賛同を表明しておりますが、前述のような取組みを積み重ねつつ、ステークホルダーの皆さまや地域社会・環境の持続的発展に貢献していくことで、当行グループの中長期的な企業価値の向上につなげてまいりますので、引き続きご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

株式会社 北洋銀行

取締役頭取 **安田 光春**



# 業績ハイライト

## 損益の状況

### ▶ 単体

	2019年度	2020年度	前年比
	単位: 億円		
コア業務粗利益	829	<b>805</b>	△24
資金利益	662	<b>655</b>	△6
役務取引等利益	142	<b>130</b>	△11
その他業務利益	25	<b>18</b>	△6
経費(除く臨時処理分)(△)	668	<b>647</b>	△21
(コアOHR)	(80.59%)	<b>(80.41%)</b>	(△0.18%)
コア業務純益	161	<b>157</b>	△3
除く投資信託解約損益	160	<b>157</b>	△2
貸倒償却引当費用(△)	19	<b>80</b>	60
有価証券関係損益	△39	<b>56</b>	96
その他臨時損益	24	<b>6</b>	△18
経常利益	126	<b>141</b>	14
当期純利益	83	<b>88</b>	4
ROE	2.08%	<b>2.15%</b>	0.07%

その他業務利益には国債等債券関係損益を含んでいません。

$$\text{ROE} = \frac{\text{当期純利益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本}) \div 2}$$

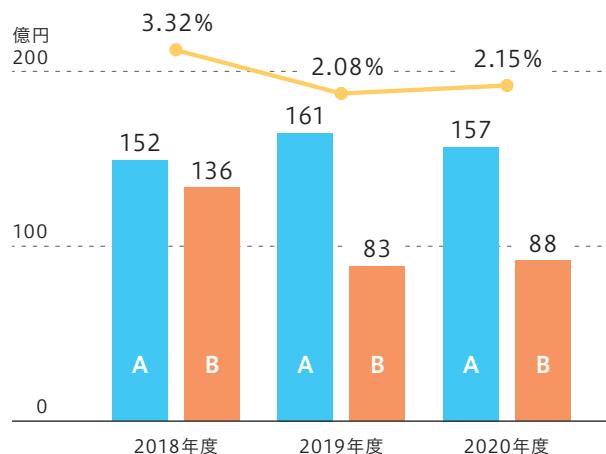
### ▶ 連結

	2019年度	2020年度	前年比
	単位: 億円		
連結コア粗利益	882	<b>860</b>	△22
経常利益	127	<b>157</b>	30
親会社株主に帰属する当期純利益	75	<b>94</b>	18
連結コア業務純益	183	<b>181</b>	△1
除く投資信託解約損益	182	<b>181</b>	△1

コア業務粗利益は、利回り低下に伴う有価証券利息配当金の減少や対面取引制約の影響などによる役務取引等利益の減少を主因に、前年比24億円の減少となりました。コア業務純益は、幅広い項目にわたる物件費の削減や人員の自然減など、経費削減に努めたものの、コア業務粗利益の減少をカバーしきれず、前年比3億円の減少となりました。経常利益・当期純利益は、予防的な引当により貸倒償却引当費用が増加したものの、市況回復に伴う株式売却等により、前年比それぞれ14億円、4億円の増加となりました。

### 単体

A コア業務純益 B 当期純利益 ROE



## 資金量・預り資産 単体

### 平均残高

単位 億円

	2019年度	2020年度	前年比
資金量	87,713	96,203	8,490

### 期末残高

単位 億円

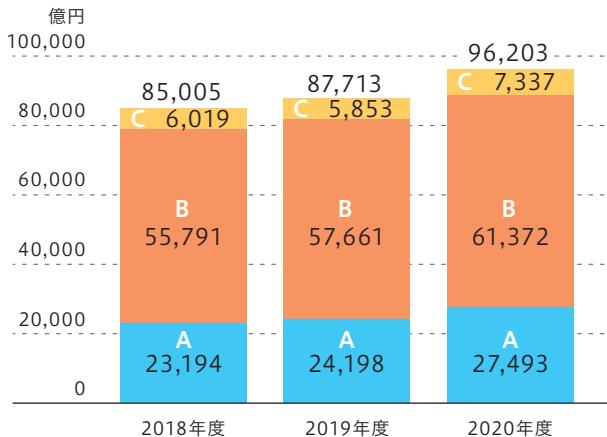
	2020年3月末	2021年3月末	前年比
資金量	89,521	99,907	10,386
預り資産	2,231	2,444	213

資金量 = 預金 + 譲渡性預金  
 預り資産 = 公共債保護預り + 投資信託

資金量の平均残高は前年比8,490億円増加(年率+9.6%)、期末残高は前年比1兆386億円増加(年率+11.6%)しました。先行き不透明な状況が続く中、資金繰りに備えた手元流動性資金の滞留や定額給付金の影響などからすべてのセクターで伸長しました。預り資産残高は、投資信託において、対面取引制約などに伴い販売額が減少したものの、市況回復により時価額が上昇したことから、前年比213億円増加しました。

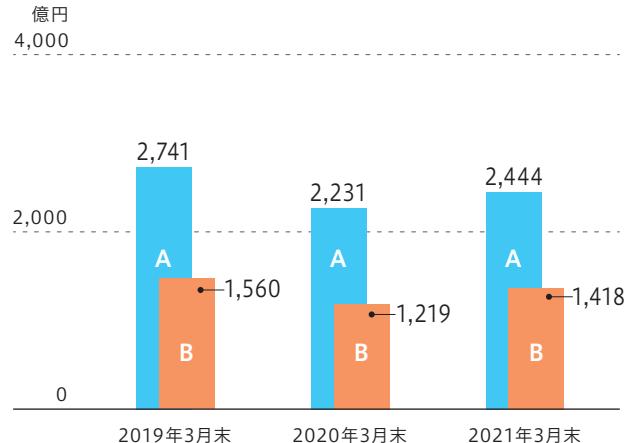
### 資金量平均残高

A 法人預金 B 個人預金 C 地方公共団体・金融預金



### 預り資産・投資信託期末残高

A 預り資産 B 投資信託



投資信託については時価による表示としています。

# 業績ハイライト

## 貸出金 単体

### 平均残高

単位 億円

	2019年度	2020年度	前年比
貸出金	66,576	71,315	4,738

### 期末残高

単位 億円

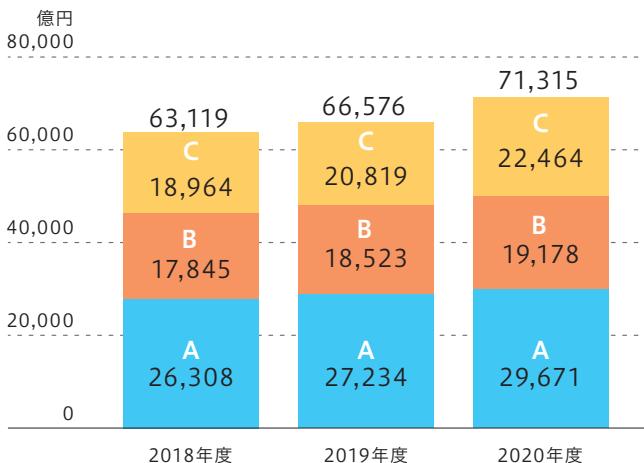
	2020年3月末	2021年3月末	前年比
中小企業等貸出金	37,250	40,726	3,475
貸出金	67,189	74,244	7,054
北海道内向け貸出金	53,888	57,665	3,776

中小企業等貸出金=中小企業向け貸出金+個人向け貸出金

貸出金は、コロナ関連融資の取組みを主因として、平均残高は前年比4,738億円増加(年率+7.1%)、期末残高は前年比7,054億円増加(年率+10.4%)しました。平均残高、期末残高ともにすべてのセクターで前年を上回りました。中小企業等貸出金の期末残高は、コロナ関連融資の伸長や個人向け住宅ローンの増加を主因として、前年比3,475億円増加(年率+9.3%)しました。

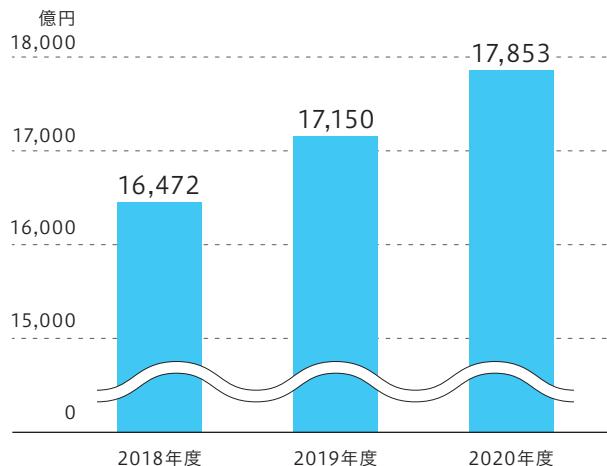
### 貸出金平均残高

A 事業者 B 個人 C 地方公共団体等



地方公共団体等には国および土地開発公社向け貸出を含みます。

### 住宅ローン平均残高



## 有価証券評価損益 単体

有価証券評価損益は、市況回復の影響による株式の評価益増加を主因として、前年比332億円増加しました。

	2020年3月末	2021年3月末	前年比
有価証券評価損益	837	<b>1,170</b>	332
株式	819	<b>1,178</b>	359
債券	90	<b>15</b>	△74
その他	△72	<b>△23</b>	48

商品有価証券、投資事業有限責任組合は除きます。

### 参考

	2020年3月末	2021年3月末	前年比
日経平均株価(円)	18,917	<b>29,178</b>	10,261
新発10年国債利回(%)	0.005	<b>0.120</b>	0.115

## 自己資本比率 国内基準

自己資本比率は、自己資本に加算されていた劣後特約付借入金の一部返済により、単体、連結とも低下しましたが、引き続き高い水準を維持しています。

### 単体

	2020年3月末	2021年3月末	前年比
自己資本比率	12.30%	<b>12.07%</b>	△0.23%
自己資本	3,387	<b>3,329</b>	△58
リスク・アセット等	27,535	<b>27,577</b>	42

## 金融再生法開示債権 単体

開示債権額は、コロナ禍の影響を受けたお取引先のご支援などから微増しましたが、企業倒産の減少などから、低水準を維持しています。開示債権比率は、貸出金増加の中でも0.07ポイント低下しており、引き続き高い健全性を確保しています。

	2020年3月末	2021年3月末	前年比
破産更生等債権	243	<b>264</b>	20
危険債権	361	<b>332</b>	△28
要管理債権	95	<b>126</b>	30
金融再生法開示債権 (開示債権比率)	700 (1.01%)	<b>722</b> <b>(0.94%)</b>	22 (△0.07%)
※部分直接償却後 (開示債権比率)	569 (0.82%)	<b>575</b> <b>(0.75%)</b>	6 (△0.07%)

当行は部分直接償却未実施ですが、参考として部分直接償却を実施した場合の計数を記載しています。

### 連結

	2020年3月末	2021年3月末	前年比
自己資本比率	12.61%	<b>12.41%</b>	△0.20%
自己資本	3,554	<b>3,496</b>	△57
リスク・アセット等	28,179	<b>28,150</b>	△28

## 中期経営計画『共創の深化』

～お客さま・地域から最も信頼されるパートナーを目指して～

計画期間 2020年4月～2023年3月(3年間)

### 経営理念

お客さま本位を徹底し、  
多様な課題の解決に取り組み、  
北海道の明日をきりひらく

#### 行動規範

- |   |                              |   |                     |
|---|------------------------------|---|---------------------|
| 1 | コンプライアンス・社会的責任を常に意識し、誠実に向き合う | 2 | お客さまからの「ありがとう」を追求する |
| 3 | 職員一人ひとりを尊重し、チームワークを最大化する     | 4 | 変化を恐れず、自ら考え挑戦する     |

お客さま本位、事業性理解

道内シェアアップ

高度人材の育成

シェアアップ、役務増強の実現

目指す姿

コンサルティングの強化

法人・個人役務取引の増強

効率的アプローチ、コスト削減

収益減少をカバー、筋肉質な組織へ

基本方針

コンサルティング戦略

- 1 お客さまに寄り添った  
コンサルティング営業の徹底



デジタル戦略

- 2 デジタル化を中心とした  
取引の間口拡大と効率化



人材戦略

- 3 深度あるコンサルティングの  
実現に向けた人材育成



生産性向上戦略

- 4 生産性向上とコスト削減へ  
向けた取組みの加速



お客さま満足・価値の最大化

=

北洋銀行グループの収益向上

北海道の持続可能な未来への貢献

## 北洋銀行が考えるサステナビリティ

当行グループは、これまで「CSR基本方針」に基づき全てのステークホルダーの持続的発展に資する活動に取り組んできましたが、持続可能な地域社会・環境の実現に対する社会的な意識の高まりを受け、2021年5月、「CSR基本方針」を発展的に見直し、新たに「サステナビリティ方針」を策定しました。この方針のもと「ESG※取組方針」および「SDGs※に係る重点取組テーマ」を掲げ、様々な活動に取り組んでいます。また、あわせて「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)※」提言への賛同を表明しており、同提言で推奨される気候関連財務情報開示と脱炭素社会の実現に積極的に取り組んでいきます。

※ESG…環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字をとったもので、企業の持続的成長にはESG課題への取組みが不可欠であるとの考え方が世界的に広がっています。

※SDGs…「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略で、2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットから構成される2030年までの国際目標。

※気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)…「Task Force on Climate-related Financial Disclosures」の略で、2015年12月に金融安定理事会(FSB)により設立された、気候変動リスク・機会の情報開示を推奨する国際的な支援組織。

### サステナビリティ方針

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

#### ESG取組方針

1. 環境方針
2. 社会貢献方針
3. ガバナンス方針

#### SDGsに係る重点取組テーマ

1. お客さまとの共通価値の創造
2. 環境保全
3. 医療福祉
4. 教育文化
5. ダイバーシティ

## TSUBASA SDGs宣言

当行はTSUBASAアライアンス※に加盟し幅広い分野で連携を進めており、2019年5月には、SDGsの達成に貢献すべく「TSUBASA SDGs宣言」を制定しました。アライアンスの目的のひとつである地域の持続的な成長を実現するため、地域の課題が共通するという相互認識のもと、それぞれの地域の社会・環境課題に取り組むことを宣言したものです。

※TSUBASAアライアンス…当行を含めた10行による国内最大規模の地銀広域連携の枠組み。

# サステナビリティへの取組について

## お客さまとの 共通価値の創造



Sustainable Development Goals

事業性理解を通してお客さまと経営課題を共有し、その解決に向け、融資や「北洋SDGs推進ファンド」などの各種ファンドによる資金面のご支援はもとより、外部専門機関も活用した多様なソリューションを提供しています。

また、地域社会の一員として、全役職員を挙げて社会貢献につながる行事への参加や地域交流などを行っています。

## 環境保全



Sustainable Development Goals

地球温暖化防止の観点から二酸化炭素など温室効果ガスの削減に取り組むとともに、環境に配慮した取組みを行う企業をサポートする環境配慮型私募債「北洋エコボンド」や、「地域ESG融資促進利子補給制度」等をお取り扱いしています。

### ●「ほっくー基金」と「ほっくー定期預金」

北海道の生物多様性保全を目的とした「ほっくー基金(2010年度設立)」により、道内の希少種保護や生息環境整備などに取り組む様々な団体を幅広く支援しています。基金設立以来、累計123先へ7,390万円を助成しました。また、「ほっくー基金」の主な原資として「ほっくー定期預金」をお取り扱いしており、お客さまからお預け入れていただいた「ほっくー定期預金」の残高の0.01%相当額と、満期案内不発行による郵送料相当額を当行が基金に拠出しています。

こうした継続的な取組みが評価され、環境省が支援する「21世紀金融行動原則※」の「2020年度最優良取組事例」において、道内金融機関で初めて特別賞(運営委員長賞)を受賞しました。

※21世紀金融行動原則…持続可能な社会の形成のために必要な責任と役割を果たしたいと考える金融機関のための行動指針。署名金融機関は自らの事業内容を踏まえ、可能な限り7つの原則に基づき取組みの実践を目指しています。



北海道希少生物調査会  
(2021年度ほっくー基金助成先)



特定非営利活動法人近自然森づくり協会北海道支部  
(2021年度ほっくー基金助成先)

## 医療福祉



### Sustainable Development Goals

少子高齢化の先進地域である北海道の実情を踏まえ、医療福祉の充実に取り組んでいます。北海道大学・札幌医科大学・旭川医科大学・北海道医療大学と包括連携協定を締結し、市民向け講座やセミナー等を開催しているほか、職員による企業団体献血への協力を推奨しています。

#### ●医療従事者の支援

新型コロナウイルス感染拡大防止の最前線でご尽力されている道内医療従事者を支援する「ほくよう北の医療応援債」をお取り扱いしています。これは、お客さまが私募債をご利用される際、発行金額の0.2%相当額を「エールを北の医療へ!※」を通して、新型コロナウイルス感染症患者の治療に奮闘する道内の医療従事者へ寄付するものです。2020年5月の取扱開始から、多くのお客さまに本私募債の主旨にご賛同いただき、2020年度は1,188万円の寄付金を贈呈しました。

※エールを北の医療へ!…道内医療従事者に対する寄付金を募集する北海道の取組み。



感謝状贈呈式(2020年度)

#### ●団体献血

職員参加型の活動として、企業団体献血への協力を推進しています。2020年度は道内各地で日本赤十字社より献血バスを手配いただき、延べ171名の役職員が参加しました。輸血を必要としている尊い命を救うために、持続可能なボランティア活動として、今後も定期的に取り組んでいきます。



団体献血(2020年度)

# サステナビリティへの取組について

## 教育文化



## Sustainable Development Goals

### ● パラスポーツを支援

道内のパラスポーツを応援する「パラスポーツ応援債」をお取り扱いしています。これは、お客さまが私募債をご利用される際、当行が発行金額の0.2%相当額を道内のパラスポーツ活動に取り組む選手や団体等に寄付するものです。2020年度は、選手・団体等15先に対し総額710万円を贈呈しました。今後も地域のお客さまとともに、道内のパラスポーツを積極的に支援していきます。



ほくく一障がい者スポーツ基金贈呈式  
贈呈式(2020年度)

### ● 文化振興

北海道における文化振興の一助となることを目的に、2012年度より札幌交響楽団によるクラシックコンサートを開催しており、これまでに延べ約33,180名のお客さまをご招待しています。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無観客で開催したコンサートの模様を当行公式YouTubeにてオンライン配信しました。また、北海道の未来を担う中学生の育成を目的として北海道放送主催「中学生作文コンクール」に協賛しています。



北洋銀行presents  
クラシックコンサート(札幌・2019年度)

## ダイバーシティ



## Sustainable Development Goals

### ● ワークライフバランスへの取組・多様な職員の活躍支援

ダイバーシティ推進の取組みのひとつとして、働きがいのある職場づくりのためにワークライフバランスの実現に取り組んでいます。「コース別人事」「勤務地変更制度」など男女ともに働きやすい環境整備に取り組んでいるほか、人事部に「ダイバーシティ推進室」を設置し、職員全体の約4割を占める女性職員のキャリアアップやライフプランについての個別相談、女性のキャリア形成支援を目的とした研修を実施しています。2021年4月時点で、調査役クラス以上(指導的立場にある職員)の女性は554名(うち支店長クラス24名)、全体に占める比率は29.7%です。2018年12月には道内金融機関で初めて「優良な子育てサポート企業(プラチナくるみん)」の認定を受けました。



育児休業者・復帰者意見交換会  
(2019年度)

### ● 健康管理

「職員の健康で働きがいのある職場づくり」を経営の重要な柱と位置付けており、一人ひとりが能力を最大限発揮できるよう、健康増進・保持を目的に「職場の健康づくり」「からだの健康づくり」「心の健康づくり」にかかる様々な施策に積極的に取り組んでいます。2021年3月には、「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に認定されています。



プラチナくるみん  
ロゴマーク



## 「北の大地でワーケーション！ オンラインセミナー」を開催

当行は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により落ち込んだ地域産業の活性化および人口減少下における地域の担い手確保に向け、仕事と休暇を組み合わせたワーケーションの道内誘致に向けた取組み「北の大地でワーケーション！」事業を行っています。

その一環として、日本航空株式会社（以下、日本航空）・北海道エアポート株式会社と連携し「北の大地でワーケーション！ オンラインセミナー」を開催しました。本セミナーを通じて、日本航空「ふるさとアンバサダー」\*と連携したワーケーション誘致に関心を有する自治体・宿泊事業者を発掘するとともに、昨年11月に実施した情報交換会で得られた首都圏企業のワーケーションニーズの情報提供を行いました。

当行は、今後も「北の大地でワーケーション！」事業において、ワーケーション誘致に取り組む地域と首都圏企業との橋渡しを継続的に実施していきます。

※日本航空「ふるさとアンバサダー」：交流人口の拡大や地域産業振興において新たな価値を創造するために、縁のある地域に配置された客室乗務員。



オンラインセミナーの様子

## 一部店舗にて「来店予約サービス」の試行を開始

2021年3月より、一部店舗にて来店予約専用Webページより、パソコンやスマートフォンで来店予約ができるサービスの試行を開始しました。本サービスは、ライフプランに関する各種ご相談や、相続に関する手続きなどの来店を対象としており、お客さまが店頭の混雑状況や待ち時間を気にせずに来店いただくことができますようになります。

当行は、今後も多様化するお客さまニーズに対応するため、デジタル技術を活用したサービスの拡充に積極的に取り組んでまいります。

※予約方法はWeb予約のみです。お電話での予約は承っておりません。

※ご予約の際は、来店予約専用Webページの注意事項等をご確認の上、お申し込みください。

## 持続可能な観光モデル構築に向けた取組

当行は、北海道弟子屈町(以下、弟子屈町)、北海道、釧路信用金庫(以下、釧路信金)、北海道エアポート株式会社(以下、HAP)、環境省および株式会社地域経済活性化支援機構(以下、機構)の7者で、「阿寒摩周国立公園活性化に向けた摩周エリアの観光資源磨き上げ連携協定」を締結しました。本協定は、機構が観光庁との連携のもと2019年6月に設立した「観光遺産産業化ファンド」の活動の一環として締結されたもので、地域の経済・雇用を支える基幹産業である観光産業の発展に向けた取組みを推進し、もって、国立公園等の自然を活用した持続可能な地域づくりのモデル構築のため、7者で連携および協力することを目的としています。

弟子屈町、北海道、釧路信金、HAP、環境省、機構および当行は、本協定に基づき、阿寒摩周国立公園の摩周エリアの観光資源の磨き上げを通じ、地域活性化と自然環境の保護・保全の好循環による持続可能な観光のモデルづくりを協働で推進してまいります。



摩周エリアの観光資源磨き上げ連携協定

## 住宅ローン契約説明動画サービス「ほっくー住宅ローン契約ナビ」を開始

2021年4月より、住宅ローン契約説明動画サービス「ほっくー住宅ローン契約ナビ」(以下「住宅ローン契約ナビ」)を開始しました。

このサービスは、住宅ローンご契約者様向けに、住宅ローン契約時の重要なポイントを動画で説明するものです。ご契約前に視聴ページの二次元コードまたはURLをパンフレット等でご案内し、お客さまのご都合の良い時間に、あらかじめ住宅ローン契約ナビをスマートフォンやパソコンでご視聴いただくことで、より安心して住宅ローンをご契約いただくことが可能となります。

また、住宅ローン契約ナビのご視聴とあわせて、アンケートにご回答いただき、ご不明な点や追加のご説明を希望される点を当行担当者が事前に把握することで、住宅ローンご契約時のご面談時間の短縮に繋がり、お客さまのご負担の軽減と新型コロナウイルス感染防止にも役立ちます。

当行は今後も、お客さまのニーズに対応した様々な商品性の向上に努め、より一層ご満足いただけるよう努めてまいります。

## 北洋SDGs推進ファンド

---

当行は2018年6月に、株式会社北海道二十一世紀総合研究所と共同で、「北洋SDGs推進ファンド」を設立しています。本ファンドは、SDGsのコンセプトに合致する道内中小企業を投資対象とし、資金の提供を通じて地域経済の活性化と北海道の持続可能な発展に貢献することを目的としています。

2020年10月には、自家骨髄間葉系幹細胞による脳梗塞などの再生医療に取り組む事業者に出資しました。同社は脳梗塞など中枢神経疾患の患者自身から採取、培養した自家骨髄間葉系幹細胞製品の開発、治験、薬事承認まで一貫した体制を整えることを目指すとともに、患者自身の骨髄液から採取した幹細胞を脳梗塞周辺部に直接投与する同社の独自技術が社会実装化されることを目標としている企業です。

また同月に、Web・ECサイト制作、インターネット広告制作、ITを活用したオンライン上でのデジタルマーケティングを提供する事業者へも出資しました。同社はWebやECサイトから膨大なデータを収集し、分析と課題抽出を経て解決策としてのアクションプランを策定し、クライアントに対してコンサルティングまで行うことを強みとしており、Webサイトの企画・制作、広告制作からデジタルマーケティングの全てを内製化できる企業です。

ファンド設立以来、2021年3月末までに26社に対して375百万円の出資を行っています。

## フードビジネス支援

---

当行では、北海道の基幹産業である農業・食品関連産業の支援に向け、生産・加工・販売の各フェーズで最適なコンサルティング機能を発揮し、フードビジネスの育成・強化に取り組んでいます。

2020年11月には、一般社団法人北海道貿易物産振興会と連携し、例年東京と大阪で開催している道産食品の展示型商談会である「北洋銀行インフォメーションバザール」・「北海道産品取引商談会」を福岡で初めて開催しました。

本商談会は、九州最大級である食の展示会「Food Style 2020 in Fukuoka」に北海道コーナーを設置する形式で開催し、道内食品メーカー39社が出展しました。同展示会への北海道コーナー設置は初めての試みであり、北海道コーナー全体に統一した装飾を施すことで「北海道ブランド」として魅力を発信するなど、お取引先企業様の新たなマーケット拡大を支援しました。

当行は引き続き、北海道の基幹産業である「食」に携わるお取引先企業様のサポートを通じて、道内経済の発展に貢献してまいります。



北洋銀行インフォメーションバザール in Fukuoka

# 貸借対照表・損益計算書

## 第165期 貸借対照表

2021年3月31日現在

		単位 百万円	
科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	2,623,534	預金	9,908,304
コールローン	544	譲渡性預金	82,431
買入金銭債権	14,224	売現先勘定	13,402
商品有価証券	3,711	債券貸借取引受入担保金	251,108
有価証券	1,504,582	借入金	1,019,357
貸出金	7,424,406	外国為替	51
外国為替	8,569	その他負債	38,485
その他資産	138,457	賞与引当金	1,457
有形固定資産	76,128	株式給付引当金	164
無形固定資産	4,885	退職給付引当金	365
支払承諾見返	55,942	睡眠預金払戻損失引当金	1,889
貸倒引当金	△31,137	ポイント引当金	454
		繰延税金負債	25,921
		再評価に係る繰延税金負債	2,030
		支払承諾	55,942
		<b>負債の部合計</b>	<b>11,401,367</b>
		(純資産の部)	
		資本金	121,101
		資本剰余金	50,005
		資本準備金	50,001
		その他資本剰余金	4
		利益剰余金	167,945
		利益準備金	7,219
		その他利益剰余金	160,726
		自己株式	△3,158
		株主資本合計	335,893
		その他有価証券評価差額金	82,456
		土地再評価差額金	4,048
		評価・換算差額等合計	86,504
		新株予約権	84
		<b>純資産の部合計</b>	<b>422,482</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>11,823,850</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>11,823,850</b>

## 第165期 損益計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

		単位 百万円	
科目	金額	科目	金額
<b>経常収益</b>		<b>103,998</b>	
資金運用収益	67,449		
(うち貸出金利息)	(58,380)		
(うち有価証券利息配当金)	(8,193)		
役員取引等収益	25,435		
その他業務収益	2,701		
その他経常収益	8,411		
<b>経常費用</b>		<b>89,879</b>	
資金調達費用	1,880		
(うち預金利息)	(232)		
役員取引等費用	12,380		
その他業務費用	1,010		
営業経費	65,215		
その他経常費用	9,392		
<b>経常利益</b>	<b>14,119</b>		
<b>特別利益</b>	<b>239</b>		
<b>特別損失</b>	<b>1,282</b>		
<b>税引前当期純利益</b>	<b>13,076</b>		
法人税、住民税及び事業税	6,346		
法人税等調整額	△2,086		
<b>法人税等合計</b>	<b>4,260</b>		
<b>当期純利益</b>	<b>8,815</b>		

## 第165期 連結貸借対照表

2021年3月31日現在

		単位 百万円	
科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	2,625,082	預金	9,900,963
コールローン及び買入手形	544	譲渡性預金	71,077
買入金銭債権	14,224	売現先勘定	13,402
商品有価証券	3,711	債券貸借取引受入担保金	251,108
有価証券	1,505,246	借入金	1,030,491
貸出金	7,367,433	外国為替	51
外国為替	8,569	その他負債	60,344
リース債権及びリース投資資産	53,166	賞与引当金	1,670
その他資産	178,695	株式給付引当金	164
有形固定資産	77,252	退職給付に係る負債	548
無形固定資産	4,936	睡眠預金払戻損失引当金	1,889
退職給付に係る資産	814	ポイント引当金	460
繰延税金資産	290	特別法上の引当金	19
支払承諾見返	55,942	繰延税金負債	27,404
貸倒引当金	△37,704	再評価に係る繰延税金負債	2,030
		支払承諾	55,942
		<b>負債の部合計</b>	<b>11,417,570</b>
		(純資産の部)	
		資本金	121,101
		資本剰余金	74,741
		利益剰余金	154,102
		自己株式	△3,153
		株主資本合計	346,792
		その他有価証券評価差額金	84,491
		土地再評価差額金	4,048
		退職給付に係る調整累計額	639
		その他の包括利益累計額合計	89,179
		新株予約権	84
		非支配株主持分	4,580
		<b>純資産の部合計</b>	<b>440,636</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>11,858,207</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>11,858,207</b>

## 第165期 連結損益計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

		単位 百万円	
科目	金額	科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>135,620</b>		
資金運用収益	66,697		
(うち貸出金利息)	(58,140)		
(うち有価証券利息配当金)	(7,680)		
役員取引等収益	27,900		
その他業務収益	32,595		
その他経常収益	8,425		
<b>経常費用</b>	<b>119,852</b>		
資金調達費用	1,912		
(うち預金利息)	(232)		
役員取引等費用	11,285		
その他業務費用	28,174		
営業経費	68,345		
その他経常費用	10,134		
<b>経常利益</b>	<b>15,767</b>		
<b>特別利益</b>	<b>242</b>		
<b>特別損失</b>	<b>1,301</b>		
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>14,708</b>		
法人税、住民税及び事業税	6,863		
法人税等調整額	△1,900		
<b>法人税等合計</b>	<b>4,963</b>		
<b>当期純利益</b>	<b>9,745</b>		
<b>非支配株主に帰属する当期純利益</b>	<b>322</b>		
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>9,422</b>		

# 北洋銀行について

## 経営理念

お客さま本位を徹底し、  
多様な課題の解決に取り組み、  
北海道の明日<sup>あす</sup>をきりひらく

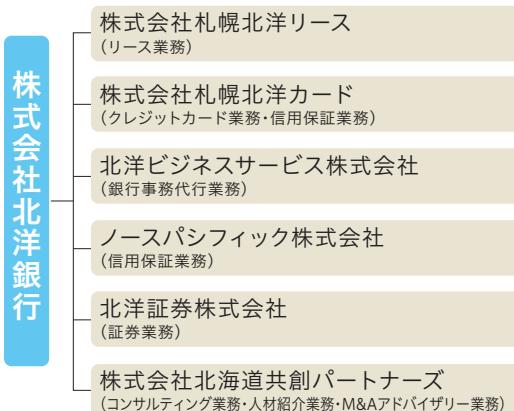
## 当行の概要

2021年3月31日現在

設立年月日	1917(大正6)年8月20日
本店所在地	札幌市中央区大通西3丁目7番地
資本金	1,211億円
店舗数	171店
従業員数	2,695名
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 札幌証券取引所
証券コード	8524

## グループ会社一覧

2021年3月31日現在



## 役員一覧

2021年6月25日現在

取締役頭取 (代表取締役)	安田 光春	常務取締役	進藤 智	取締役(社外)	島本 和明	常勤監査役	松下 克則
取締役副頭取 (代表取締役)	竹内 巖	常務取締役	日當 隆文	取締役(社外)	西田 直樹	常勤監査役	押野 均
取締役副頭取 (代表取締役)	長野 実	常務取締役	増田 仁志	取締役(社外)	谷口 雅子	常勤監査役(社外)	窪田 毅
		取締役	阿部 勝義	取締役(社外)	佐々木麻希子	監査役(社外)	和田 健夫
						監査役(社外)	石井 吉春

## 株主還元方針

総還元性向  
40%を目処

=

年間の配当金総額

+

自己株式の取得額

親会社株主に帰属する当期純利益

普通配当金 …… 1株当たり年間10円を予定

業績連動配当金 …… 親会社株主に帰属する当期純利益が150億円を超える場合、  
その超過額の30%を目処にお支払予定

## 株式の状況

2021年3月31日現在

株主数 13,843名

発行済株式の総数 399,060,179株

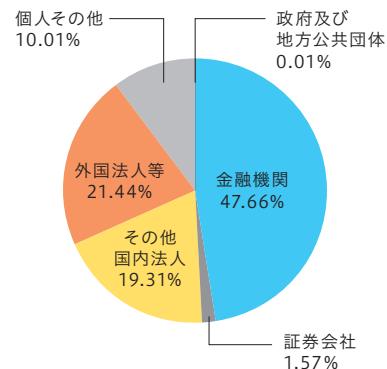
### 大株主

株主名	所有株式数	所有株式数の割合
日本生命保険相互会社	30,954,500 株	7.94 %
明治安田生命保険相互会社	30,954,000	7.94
北海道電力株式会社	23,247,000	5.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	19,705,500	5.05
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	19,457,600	4.99
ステートストリートバンク アンド トラスト カンパニー 505223	17,198,845	4.41
第一生命保険株式会社	13,412,000	3.44
大樹生命保険株式会社	11,132,000	2.85
北洋銀行職員持株会	7,750,820	1.98
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	7,378,600	1.89

(注)1. 「所有株式数の割合」は、発行済株式の総数から自己株式を控除のうえ算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

2. 当行は自己株式を9,461,389株保有していますが、上記大株主には含めていません。

### 所有者別株式分布状況



(注)自己株式を控除のうえ算出しています。

## 株式事務のお取扱いについて

お手順の区分	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
株主名簿記載事項の変更 (氏名、住所、商号など) 単元未満株式の買取・買増請求 配当金受取方法の変更	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 <b>フリーダイヤル 0120-288-324</b> 受付時間：平日9時～17時(土・日・祝日を除く)
未払配当金の支払等		

## 株式会社 北洋銀行 経営企画部

〒060-8661 札幌市中央区大通西3丁目7番地

電話 011-261-1311 (代表)

<https://www.hokuyobank.co.jp/>



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。